

那 須 岳

気 象 庁 地 震 火 山 部
火 山 監 視 ・ 情 報 セ ン タ ー

火山活動に特段の変化はなく、火口周辺に影響を及ぼす噴火の兆候は見られません。
平成 19 年 12 月 1 日に噴火予報（平常）を発表しました。その後、予報警報事項に変更はありません。

○ 活動概況

・ 噴煙など表面現象の状況（図 1、図 2－①②）

那須湯本（山頂火口（茶臼岳）の南東約 5 km）に設置してある遠望カメラでは、茶臼岳の噴煙は少ない状態が続いており、噴煙高度は火口縁上概ね 100m で経過しました。

・ 地震や微動の発生状況（図 2－③④）

那須岳付近を震源とする火山性地震の発生回数は少なく、地震活動は静穏に経過しました。
火山性微動は観測されませんでした。

・ 地殻変動の状況（図 3）

GPS 連続観測では、火山活動によるとみられる変動は認められませんでした。



図 1 那須岳 茶臼岳付近の状況（12 月 27 日、那須湯本遠望カメラによる）

この火山活動解説資料は気象庁ホームページ（<http://www.seisvol.kishou.go.jp/tokyo/volcano.html>）でも閲覧することができます。次回の火山活動解説資料（平成 20 年 1 月分）は平成 20 年 2 月 7 日に公表する予定です。

※この資料は気象庁のほか、東北大学及び独立行政法人防災科学研究所のデータも利用して作成しています。

資料の地図の作成に当たっては、国土地理院の承認を得て、同院発行の『数値地図 50m メッシュ（標高）』を使用しています（承認番号：平 17 総使、第 503 号）。

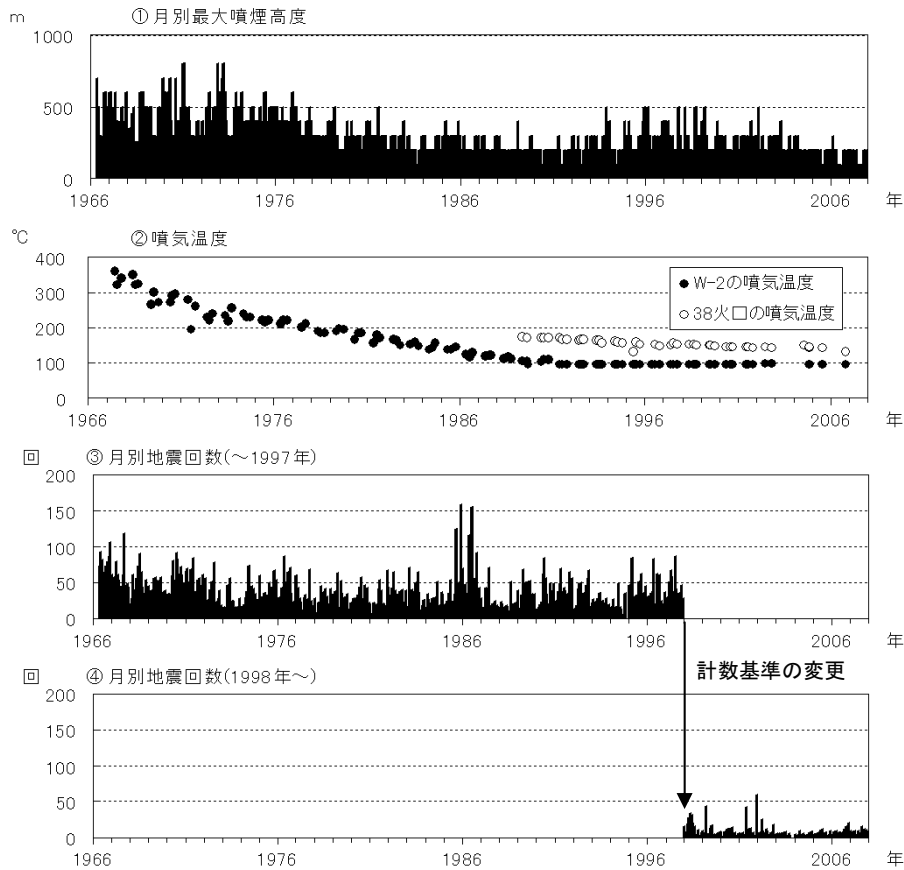


図 2 ※ 那須岳 最近の火山活動の推移 (1966 年 1 月～2007 年 12 月)
 ① 定時観測 (09 時・15 時) による茶臼岳の月別最大噴煙高度
 ② 噴気温度 (W-2 及び 38 火口はいずれも茶臼岳西側斜面の温度観測定点)
 ③ 那須岳周辺も含めた地震の月別回数 ④ 那須岳山体付近に発生した地震の月別回数

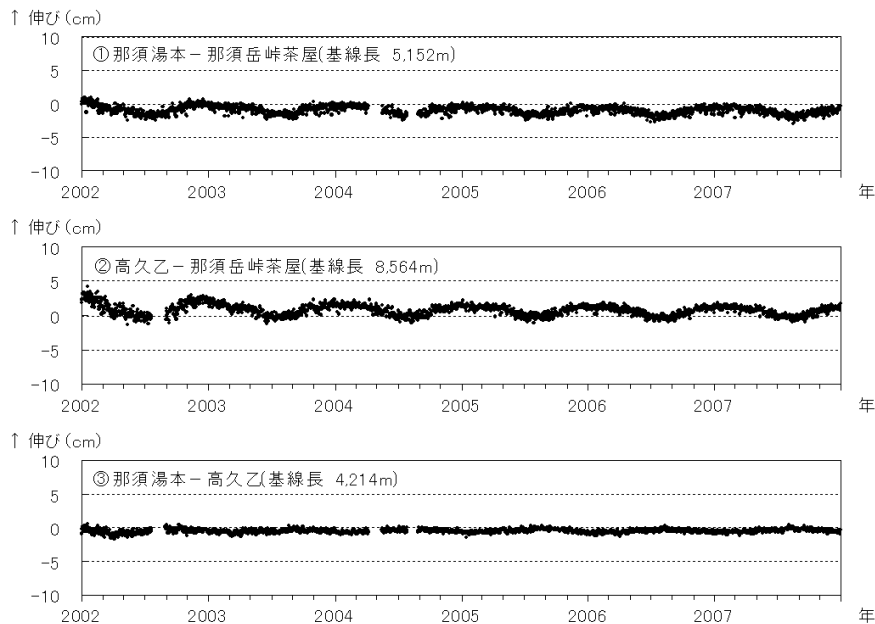


図 3 那須岳 GPS 連続観測による基線長変化 (2002 年 1 月～2007 年 12 月)
 基線長変化にみられる冬季の伸びと夏季の縮みの傾向は季節変動による変化です。
 ①～③は図 4 の GPS 基線①～③に対応しています。

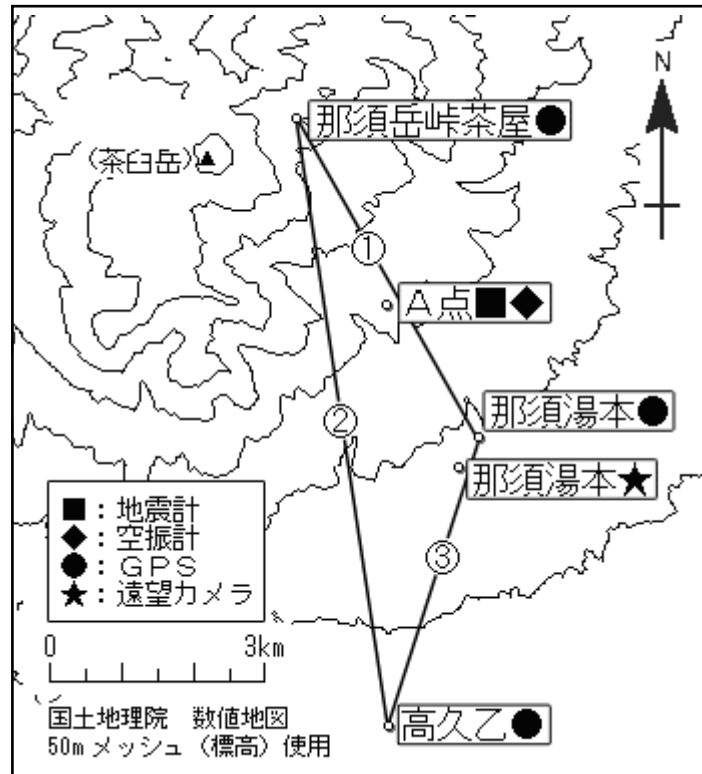


図 4 那須岳 気象庁の観測点配置図（小さな白丸は観測点位置を示しています）
GPS 基線①～③は図 3 の①～③に対応しています。